



今月号の表紙は、本光寺のあじさい。今年は6月15日ごろが見ごろで、紫、白、青と色彩に富んだあじさいの花が咲き、たくさんの方が見物に訪れていました。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線324)
FAX63-5139



知って得するくらしの

知恵袋

害虫の駆除

夏が近づくと住まいの害虫もさかんに活動を始めます。

台所に食べ物や水気を残しておくと、ゴキブリを繁殖させる原因になります。生ゴミはふたのしっかりした容器に入れ、夜はできるだけ台所の水分をふき取っておきましょう。通り道になりそうな流しの下や冷蔵庫の裏に使い捨ての粘着性捕獲器やホウ酸ダンゴを置き、姿を見つけたら殺虫剤や台所洗剤、熱湯をかけて退治します。徹底的に駆除したいなら発煙式の殺虫剤を使います。

ダニも、温かく湿気のある環境を好むので、普段から家の中に風を通すことを心がけましょう。畳やじゅうたんには念入りに掃除機をかけ、天気の良い日には虫干しをします。畳の上にはじゅうたんやカーペットを敷くのは勧められませんが、やむを得ない場合は畳の面積より小さいものを。その際、間に防虫シートを敷

くようにします。畳にひそむダニの駆除には針を差し込んで注入する殺虫剤を使いますが、発煙式の殺虫剤を併用すると一層効果的です。

ハエは、赤痢やチフス、ジフテリアなどの病原菌を運ぶ害虫です。生ゴミはふたのある容器に入れ、それでも集まってくるようなら有機リン系の殺虫剤を使います。ハエは犬や猫の排泄物に産卵することがあるので、ペットのフンは早目に処理します。

蚊の予防は、産卵場所となる下水道や用水池などで幼虫が繁殖しないようにすることです。水まわりの定期的な清掃のほか、水たまりのできやすい空き地や下水溝などには地域単位で殺虫剤をまくようにします。

いずれの害虫の場合も、すぐに殺虫剤に頼るのではなく、普段からこまめに清掃し、住まいを清潔に保つことが大切です。



【陶芸】
大沢 覚さん

みんなの作品展!



【陶芸】
肥田 清治さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

「こすかん」

夏お隣の畑では、太陽をいっぱい浴びた野菜がたわわに実っていました……
「あなた、持ってくかん?」
「あれも、ちーとこすかん。無農薬だよね……」

「あなた、持って行きますか?」
「あれも、ちよっと見た目は悪いよ。無農薬だからね……」
「という意味です。」

「こすかん」の「すかん」は「好かぬ」で、一般には、好きではない、「嫌い」の意味です。しかし、この地方では、「こぎたない」や「こぎかしい」と同じ接頭語「こ(小)」がついて、見た目が悪い、「みっともない」の意味の形容動詞としても使われます。

なお、形容動詞の終止形は、「だ」のはずなのに、例文は「こすかん」となっていますが、間違えたわけではありません。元来この地方で形容動詞の終止形は、連体形と同じ「な」なのです。
(文・ころも)



青春トークリレー

第160走者

しながわ みゆき
品川 美由紀さん

岩堀区在住 22歳 看護師
身長 152センチ O型
好きなタイプ 優しくて思いやりのある人
好きな芸能人 ケツメイシ

こんにちは。私は今、小児科の看護師として働いています。子どもが好きで、小児科を希望していたので、希望がかない、楽しく仕事をしています。働き始めて2年目に入り、だいぶ慣れてきましたが、まだまだ分からないことも多く大変です。今後、もっと勉強し、成長できるようにがんばっていきたいです。

休日は、好きな音楽を聴いたり、友達と出かけたりしてストレスを解消しています。今まではやってみていまいことが見つからず、ずっと探していました。そんなとき、幸田町に弓道場がオープンしたことを知りました。私は弓道の経験があるので、その経験を活かし、趣味としてやってみようと考えています。



掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



わんぱくどより

「某月某日」
〜坂崎保育園〜

自然がいっぱい うれしいな！の巻

幸田町の北部に位置する坂崎保育園は、田んぼや山に囲まれ、緑豊かで静かな場所にあります。そんな保育園の子どもたちは、散歩に行つて川でザリガニや小魚を捕まえたり、田んぼでおたまじゃくしを取つたりと、昔懐かしい遊びをそのままの自然で体験することができます。

また、園庭でもだんご虫やかえるを見つけたり、草花を摘んだりして、年少から年長まで楽しんでいきます。特に、虫を見つけた時の子どもの目はきらきらと輝いています。捕まえた虫の種類を図鑑で調べたり、飼っているメダカなどにエサをやり、エサを食べる様子を観察したりしています。このように、小動物に触れながら命の大切さを学んでいます。



四季折々の自然の中で、草花、鳥、昆虫、木の実などを見つけたら、触れたりして自然のすばらしさを体験しています。また、園内では、砂や土、水に思いっきり触れ、太陽をたくさん浴びながら、のびのびと遊んでいます。

昨年年度から、年長が中心となつて特別養護老人ホームつつじヶ丘に訪問し、おじいちゃん、おばあちゃんとの交流をしています。初めての交流会では、ちよつと戸惑いぎみでしたが、回を重ねることに楽しみに張りきつて出かけるようになりました。子どもたちの歌をとてもうれしそうに聞いて、大きな拍手をしてくださいます。今年も6月から交流会を始めたいです。

ちよつと
編集者の
ひとりごと

広報担当として、写真を撮つていると四季の変化を感じる場面に出くわします。特に、植物の写真を撮る場合に、季節の移り変わりを強く感じます。秋は紅葉、春は桜、そして今回の表紙であるあじさいが咲くのを見ると、もうすぐ梅雨が明けて、夏がくるんだなあ。表紙写真はその季節に合った写真を撮ろうと心がけてシャッターを押しています。広報を見た人たちが「今はこんな季節なんだ」と感じる事ができるような写真をたくさん掲載していきたいと思ひます。

広報編集に携わることになつて3か月が過ぎようとしていますが、この間に些細なことです、嬉しかったことがあります。それは、たくさんのお母さんたちが「はろーキッズ」のコーナーの写真を喜んでもらいにきてくださることです。子育て中のお母さんたちにエールを送りつつ、これからも笑顔の写真を楽しみに、見やすい広報紙を目指して編集に携わりたいと思ひます。

(M)